

<事務局：危機管理課>

本会議は、令和3年度に策定した蒲郡市地域強靱化計画の進捗状況を、外部有識者のご意見を交えながら確認することを目的として開催する。

本日の資料は、1月18日付で事前に送付した資料1「重要業績指標一覧」、資料2「個別具体的施策の事業詳細」及び冊子の「資料：進捗状況報告」の3点。

なお、事前質問はいただいているが、議事を進める中で不明な点があれば議題の終了時にご質問を。

<座長：企画部長>

本会議は、本計画を効果的に推進するため、各取組主体が進めていく強靱化に資する推進施策・事業をリスクシナリオごとに整理し、外部有識者を交えて毎年の進捗状況や指標に基づく目標の達成状況を把握しつつ、計画・実施・評価・改善のPDCAサイクルを回しながら進捗を確認する。

<議題2 令和5年度の進捗状況>

<事務局：危機管理課>

本市では事前に備えるべき目標として、「直接死を最大限防ぐ」など、8つの目標を設定し、その目標に付随する「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」として、「1-1住宅・建築物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生」を始めとして、43のリスクシナリオを設定した。

冊子資料5ページに一例として計画本編29ページから推進方針「1-1-①住宅・建築物の耐震化の促進」を抜粋し掲載した。赤丸で囲んだ重要業績指標は本市が強靱化を進めるために設定している指標で、この例では、建築住宅課が住宅の耐震化率を令和8年度には71%にすると設定している。

議題2（1）、資料1「重要業績指標一覧」では、進捗管理を行うため、蒲郡市のリスクシナリオに対応する事業として設定した35事業を記載している。

令和5年度には、No.22と32の2事業が完了する予定。現状値は、資料1の右から2列目の赤枠内にまとめた。その左の列は令和4年度の現状値で、5年度と比較して、一部で数字が進んでいない事業もあるが、ほとんどの事業で目標値に向けて進捗が見られる。

先ほど一例で上げた住宅の耐震化率は、No.1に記載してある。現状値の66%は、令和4年度65%から伸びていないように見えるが、住宅は新築や取り壊しによって母数が変わるためパーセントに変化はないものの、おおむね目標に向けて伸びている

No.18、危機管理課の避難所非常食備蓄率の目標値は100%維持で、現状値も100%維持となっているが、毎年賞味期限の関係で入れ替えを行い、100%維持を毎年努めているため、完了扱いにはしていない。

次に議題2(2)資料2、「個別具体的施策の事業詳細」には、各課の事業のうち、国の国土強靱化予算の補助金関連事業を抜き出したものを記載してある。令和5年度の現状値は右から3列目。

これに掲載した30の補助金関連事業のうち、令和5年度にはNo.8、9、12、23の4つの事業が完了する予定で、令和4年度末までに完了した事業を加えると10の事業が完了する予定となる。事業詳細の全体での進捗は33.3%。

計画本編では、この資料2のデータは185ページに記載されている。

この事業詳細は強靱化計画を推進するにあたり非常に重要なもので、毎年の進捗状況を公表する必要がある。本市では、市のホームページ上で公表しており、令和5年度の進捗状況は、令和6年4月に公開する予定。

以上のとおり、各所属では計画に定めた目標に向けて順調に事業を進めている。

#### <座長：企画部長>

ただ今、事務局から説明があった進捗状況について、ご意見・ご質問があれば、事務局から説明を。

#### <議題3 今後の進め方について>

##### <事務局：危機管理課>

令和5年7月28日に国の国土強靱化基本計画の変更の閣議決定がされたが、蒲郡市の本計画は、令和3年度から7年度までの5か年計画であり、7年度が改正の年になるため、国・県の動向を注視しながら改正に向けて情報収集等に努める。なお、本会議については、来年度も防災会議幹事会に合わせて開催したいと考えている。

<事務連絡>

今後、計画を大幅に見直す改正の必要が生じたときは、皆様のご協力を改めてお願いすることになると思う。令和6年度は国の動向を注視しつつ、粛々と事業を推進する。

<終了>